

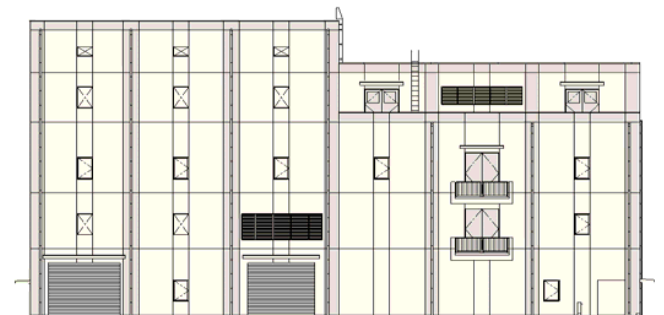
CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

1. 建物概要

建物名称	下水処理場
建設地	中央区
用途地域	準工業地域、防火地
建物用途	工場
竣工年	2015年3月 予定
敷地面積	19,344.08 m ²
建築面積	567.58 m ²
延床面積	2,084.18 m ²
階数	地上4F/地下1F
構造	RC造
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2010年10月25日



2. CASBEE新潟の評価結果

	B-	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44}{51} = 0.8$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	4.2		バリアフリー	Q2.1.1.3 -
			維持管理	Q2.1.3 -
			更新性	Q2.3.3 4.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.5		耐震・免震	Q2.2.1 3.8
			信頼性	Q2.2.4 3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1 -
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.3		節水	LR2.1.1 4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 2.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 3.0

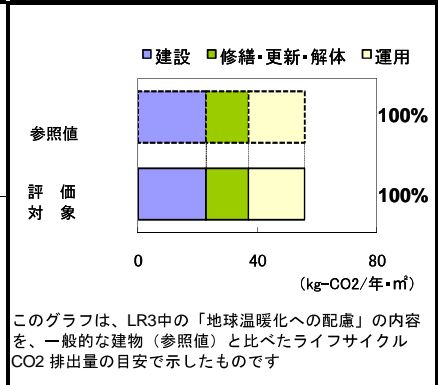
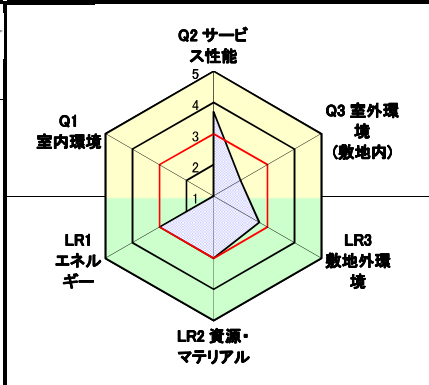
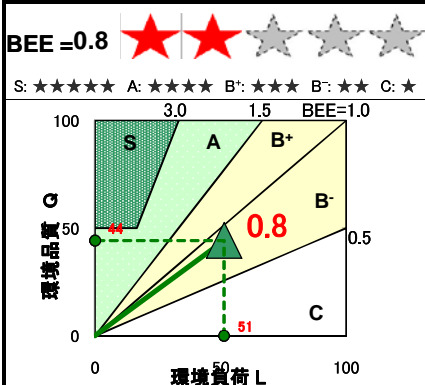
4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。
 ・建物の耐久性向上のため、建築基準法に定める耐力の1.25倍を確保した。
 ・高効率型の照明器具を採用した。

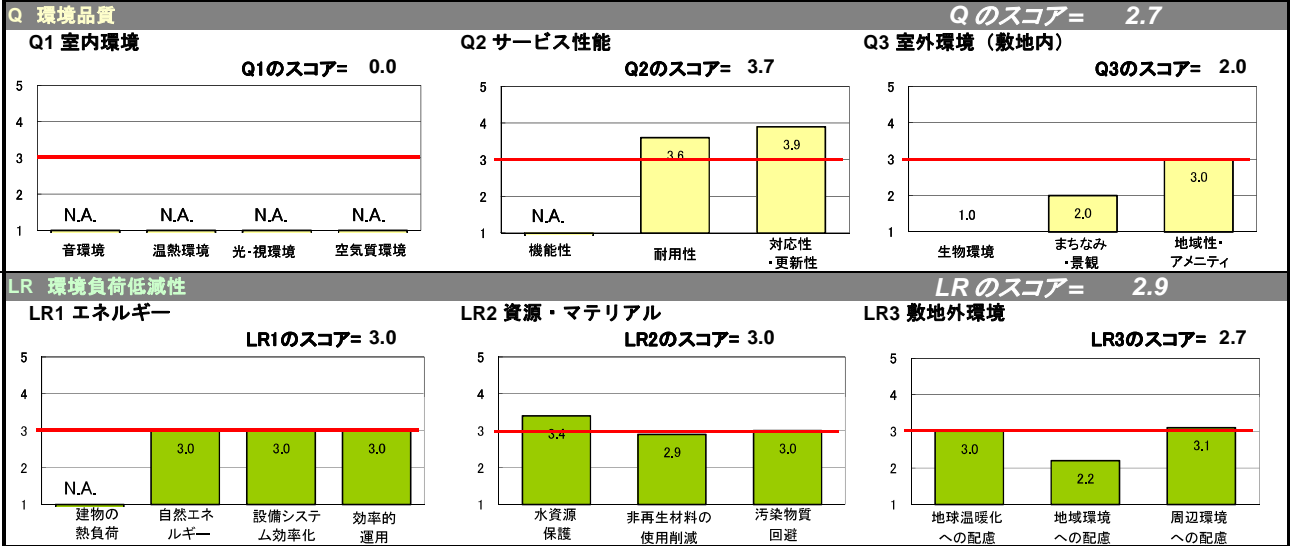
CASBEE®新潟 | 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) | **2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 下水道施設として、建物の耐震性・耐久性に配慮し、必要最低限の施設計画とすることで、施設規模を抑えた。	その他 特になし
Q1 室内環境 機器室等で騒音が想定される室には吸音材を配置し、外部への騒音対策に努めた。	Q2 サービス性能 耐震性能を基準法の1.25倍確保し、建物維持に努めた。また、室内配管を腐食に強いものを採用することで、更新間隔を長く確保できるようにした。
LR1 エネルギー 高効率型の照明器具を採用することで、省エネに配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水機器やリサイクル材を採用した。
	Q3 室外環境 (敷地内) 排気口を極力敷地中央側に向け、建物の高所に設けることで、敷地内利用者等に影響が無いよう配慮した。
	LR3 敷地外環境 各種規制値以下となるよう配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される